

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-202728

(43)Date of publication of application : 18.07.2003

(51)Int.Cl.

G03G 15/01  
G03G 21/16

(21)Application number : 2002-266629

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 12.09.2002

(72)Inventor : NOGUCHI HIROSUKE  
EMA HIROMICHI  
ISHII HIROSHI  
FUKUCHI YUTAKA  
HISAMA KAZUNOBU  
SUZUKI KAZUYOSHI  
KIKURA MAKOTO  
SATO MASUMI  
TSUKASAKI HIROYASU  
NAKAHARA TOMOTOSHI  
YASUI GENICHI

(30)Priority

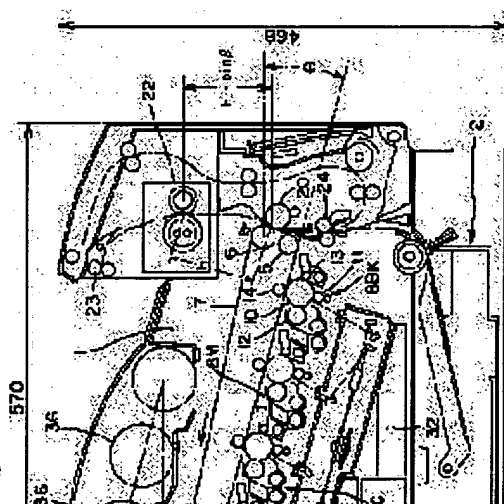
Priority number : 2001323851 Priority date : 22.10.2001 Priority country : JP

## (54) COLOR IMAGE FORMING APPARATUS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a color image forming apparatus by which image forming time is shortened and also which is miniaturized by suppressing the height of an entire apparatus while securing a distance required from secondary transfer to fixing.

SOLUTION: The image formation means 8 of an image formation part is arranged in parallel along the running side of the lower side of an intermediate transfer belt 7, and the running side of the lower side of the intermediate



transfer belt 7 is inclined in a direction in which the height level of the image formation means 8 is lowered as on a downstream side in a running direction.

---

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 24.02.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-202728

(P2003-202728A)

(43) 公開日 平成15年7月18日 (2003.7.18)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	マークシート (参考)
G 0 3 G 15/01		G 0 3 G 15/01	Z 2 H 1 7 1
	1 1 4		1 1 4 A 2 H 3 0 0
21/16		15/00	5 5 4

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願2002-286629 (P2002-286629)

(22) 出願日 平成14年9月12日 (2002.9.12)

(31) 優先権主張番号 特願2001-323851 (P2001-323851)

(32) 優先日 平成13年10月22日 (2001.10.22)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 野口 裕輔

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

(72) 発明者 江間 裕通

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

(74) 代理人 100063130

弁理士 伊藤 武久 (外1名)

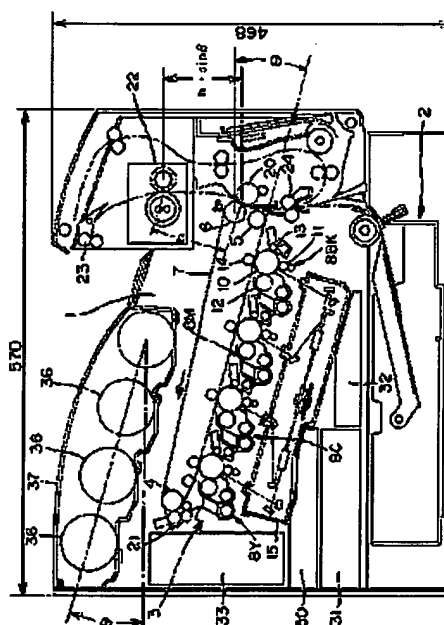
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カラー画像形成装置

(57) 【要約】

【課題】 画像形成時間の短縮化でき、しかも2次転写から定着までの必要な距離を確保しつつも装置本体の高さを抑えた小型化を図ることができるカラー画像形成装置を提供する。

【解決手段】 作像部の作像手段8が中間転写ベルト7の下部側走行辺に沿って並列配置され、その中間転写ベルト7の下部側の走行辺が、走行方向下流側へ向う程、作像手段8高さレベルが下方となる方向に傾斜されている。



(2)

特開2003-202728

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 感光体を具備する複数の作像手段を備えた作像部、該作像部の感光体に光書き込みを行う光書き込み部、前記作像部で形成された画像が転写される中間転写ベルト、用紙に担持された未定着トナー像を定着する定着部、画像形成を終えた用紙を機外に排出する排出部、前記作像部の各作像手段に供給するトナーを収納したトナー収納部、及び複数の電装ユニットを備える電装部が設けられている画像形成部と、該画像形成部へ送り込む用紙を給紙する給紙部とを有するカラー画像形成装置において、

前記作像部の作像手段が前記中間転写ベルトの下部側走行辺に沿って並列配置され、該中間転写ベルトの下部側の走行辺が、走行方向下流側へ向う程、前記作像手段の高さレベルが下方となる方向に傾斜されていることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項2】 請求項1に記載のカラー画像形成装置において、前記中間転写ベルトには、前記作像部で形成され、当該ベルトに転写された画像を用紙へ転写する2次転写部が設けられ、画像形成部は下から上に向かって前記給紙部から用紙が給紙される給紙口、前記2次転写部、前記定着部及び前記排紙部が配置されているとともに、前記給紙部の給紙口から前記2次転写部、前記定着部を介した前記排紙部までの用紙搬送パスがほぼ縦方向に延びたパスであることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項3】 請求項1に記載のカラー画像形成装置において、前記中間転写ベルトの上方に前記トナー収納部が、前記作像部の下方に前記光書き込み部がそれぞれ配置されているとともに、前記トナー収納部が前記中間転写ベルトの下側走行辺と平行に傾斜されていることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項4】 請求項3に記載のカラー画像形成装置において、前記作像部の各作像手段がそれぞれ異なる色の画像を形成するとともに、前記トナー収納部には作像手段で作像する色のトナーを収納する複数のトナー収納手段を備えており、前記作像手段と前記トナー収納手段との色の配置順が一致されていることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項5】 請求項4に記載のカラー画像形成装置において、各色の前記トナー収納手段から前記作像手段までのトナー供給経路の長さがほぼ等しいことを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項6】 請求項4または5に記載のカラー画像形成装置において、前記トナー収納手段の少なくとも1つと、他の色のトナー収納手段とのトナー収納量が異なることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項7】 請求項3に記載のカラー画像形成装置において、前記トナー収納手段が上部カバーを開放したときに現出する位置に配置されているとともに、装置本体

の正面から見て手前側から奥側に向かって並列配置されており、その際奥側に位置する前記トナー収納手段、高さレベルが上方となるように配置されていることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項8】 請求項1に記載のカラー画像形成装置において、前記画像形成部には、前記光書き込み部の下方に断面形状がほぼ三角形の空間が形成され、該空間に電装部の一部が配置されていることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項9】 請求項8に記載のカラー画像形成装置において、前記断面形状がほぼ三角形の空間に配置された電装部がコントロールユニットであることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項10】 請求項9に記載のカラー画像形成装置において、前記ほぼ三角形の空間にコントロールユニットが配置され、前記ほぼ三角形の空間の外で前記転写部と反対側方向の中間転写ベルトの奥側に電装ユニットが配置されていることを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項11】 請求項3に記載のカラー画像形成装置において、前記画像形成部の最奥側の給紙部の用紙を分離する点と同じ高さの点を原点と設定し、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT1、そのトナー収納部の最下位の点をT2、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3、そのトナー収納部の最下位の点をT4とし、定着部の定着ニップ中心点をTTとしたとき、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T1(y)が前記占有空間の最上位点であるとともに、定着ニップ中心点の幅TT(x)とにおいて

$$T1(y) \leq TT(x)$$

の関係を満足することを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項12】 請求項3に記載のカラー画像形成装置において、前記画像形成部の最奥側の給紙部の用紙を分離する点と同じ高さの点を原点と設定し、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT1、そのトナー収納部の最下位の点をT2、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3、そのトナー収納部の最下位の点をT4とし、定着部の定着ニップ中心点をTTとしたとき、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3(y)と定着ニップ中心点の高さTT(y)とにおいて

$$TT(y) \leq T3(y)$$

の関係を満足することを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項13】 請求項3に記載のカラー画像形成装置

(3)

特開2003-202728

3

において、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T3(y)及びそのトナー収納部の最下位の点T4(y)と定着ニップ中心点の高さTT(y)とにおいて $T4(y) \leq TT(y) \leq T3(y)$ の関係为满足することを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項14】 請求項3に記載のカラー画像形成装置において、前記画像形成部の最奥側で最下部を原点と設定し、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT1、そのトナー収納部の最下位の点をT2、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3、そのトナー収納部の最下位の点をT4とし、排出部の排出点をHSとしたとき、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T1(y)と排出点をHS(y)とにおいて

$HS(y) \leq T1(y)$

の関係为满足することを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項15】 請求項3に記載のカラー画像形成装置において、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T1(y)及びそのトナー収納部の最下位の点T2(y)と排出点の高さHS(y)とにおいて $T2(y) \leq HS(y) \leq T1(y)$

の関係为满足することを特徴とするカラー画像形成装置。

【請求項16】 請求項1ないし15の何れか一項に記載のカラー画像形成装置において、前記中間転写ベルトの下部側の走行辺と水平線とでなす角度を $\theta$ とすると、該角度 $\theta$ が5度から25度の範囲であることを特徴とするカラー画像形成装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、カラープリンタ、カラー複写機、カラーファクシミリ等のカラー画像形成装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、電子写真方式の画像形成装置はカラープリンタやカラー複写機等のようなフルカラーの装置が要望され、その要望に答えるように多くのフルカラーの装置が出回っている。このフルカラーの画像形成装置は、モノクロの装置と比べてその構造上、装置が大型化され、さらに画像形成速度も低速になることが避けられないものであった。しかし、フルカラーの画像形成装置においてもモノクロのプリンタの如くテーブルの上に載せて使用できる程度に小型化されたもので、かつ、画像形成速度の高速のものが望まれている。

4

【0003】フルカラー画像形成装置において、採用されているカラー記録方式を大別すると、1ドラム型とタンデム型の各方式に分けられる。1ドラム型は、1つの感光体の回りに複数の現像装置を備え、それらの現像装置でトナーを付着させて感光体上に合成トナー像を形成し、そのトナー像を転写して用紙にカラー画像を記録する方式のものである。他方、タンデム型は並べて備える複数の感光体にそれぞれ単色のトナー画像を形成し、それらの単色トナー像を順次転写して用紙に合成カラー画像を記録する方式のものである。

【0004】1ドラム型とタンデム型の画像形成装置を比較すると、1ドラム型は感光体が1つであるから、タンデム型と比べて画像形成部を小型化することができ、低コストであるという利点があるものの、1つの感光体を用いて複数回(通常4回)画像形成を繰り返してフルカラー画像を形成するものであるから画像形成の高速化に難がある。これに対し、後者のタンデム型は小型化、コストの面で上記1ドラム型より劣るものの、画像形成の高速化が容易である利点がある。

【0005】よって、フルカラー画像形成装置では画像形成速度の点からモノクロ並みのスピードが得られるタンデム型が要望され近年非常に注目されている。タンデム型の画像形成装置には、図3に示すように、各感光体51上の画像を転写装置52により、用紙搬送ベルト53で搬送する用紙に順次転写する直接転写方式のものと、図4に示すように、各感光体51上の画像を1次転写装置52によりいったん中間転写ベルト54に順次転写して後、その中間転写ベルト54上の画像を2次転写装置55により用紙に一括転写する間接転写方式のものがある。

【0006】直接転写方式のものと、間接転写方式のものとを比較すると、前者は、感光体51を並べたタンデム型画像形成装置Tの上流側に給紙装置60を、下流側に定着装置61を配置しなければならず、用紙搬送方向に大型化する欠点がある。これに対し、後者は2次転写位置55を比較的自由に設定することができるので、用紙の搬送パスを短くすることが可能で、小型化が可能となる利点がある。

【0007】上記の説明からフルカラー画像形成装置は、画像形成速度の高速化を考慮すると、記録方式がタンデム型で、そして小型化を考慮して間接転写方式が好ましいと言える。

【0008】次に、記録方式がタンデム型で間接転写方式のフルカラー画像形成装置について考察すると、用紙を給紙口から定着までの搬送パスが最短になるように縦搬送を採用すると、用紙の搬送距離が短い分高速化でき、しかもジャム等も起こりにくい利点がある。そして、縦搬送パスを採用した装置では、図5に示すように、2次転写位置55が中間転写ベルト54の右端になることは必然である。このとき、一般的な中間転写ベル

(4)

特開2003-202728

5

6

ト54の上部走行辺に4つの作像手段としての作像ユニット50を配置すると、最終のBK画像が転写されてから約半周回ってから2次転写装置55を通過するため、その分ファーストコピーの時間が長くなることが避けられない。

【0009】そこで、記録方式がタンデム型で間接転写方式のフルカラー画像形成装置において縦搬送パスを採用した場合、図6に示すように、中間転写ベルト54の下側走行辺に4つの作像ユニット50を配置することが有利である。すなわち、このように配置された装置では、用紙の搬送パスもほぼ最短で、しかも最終画像を転写された直後に重ね画像が2次転写位置に到来するため、ファーストコピーの時間が短縮化される。

【0010】上記したように、フルカラーの画像形成装置でテーブル上に載置して使用できる程の小型化にでき、しかも高速の画像形成を實現するには、現在の技術から記録方式がタンデム型で間接転写方式のフルカラー画像形成装置において縦搬送パスを採用したものが最も好ましいと言える。

【0011】ところで、電子写真方式の画像形成装置において、転写位置から定着位置までの距離は使用する用紙サイズ等から定まるある程度の長さが必要であり、図8を用いてその理由を簡単に説明する。

【0012】図8において、2次転写部55の線速を $a$ 、定着部61の線速 $b$ とすると、両者の線速は $a=b$ が理想である。しかし、現実問題として $a=b$ に設定しても公差から $a=b$ になることは不可能であり、もし転写よりも定着が速い $a<b$ になってしまうと、転写部と定着部とに跨って用紙が搬送される時、転写中の用紙が定着によって引っ張られて転写ズレを発生させる。そこで、転写部と定着部の関係は予め $a>b$ として上記した転写ズレを防止するように設定している。しかし、定着部よりも転写部の線速が速い $a>b$ に設定すると、転写部と定着部とに跨って搬送される用紙に大きく側方へずれるたるみが生じ、このたるみにいよって未定着トナー像が筐体の一部に触れて画像を乱すという問題が発生する。したがって、転写部から定着部までの距離 $h$ は大きく側方へずれるたるみを緩和させるためにも、使用する用紙のサイズに応じたある程度の長さが必要となっていた。このとき、転写点から定着点までの高さ $h \cdot \sin \theta$ は、転写ずれが生じないようにするため、

$a$  : 定着ローラの線速

$b$  : 転写ローラの線速

$c$  : 用紙の副走査方向の長さ

$l$  : ループ量

$l'$  : 転写コズレを発生しない最大許容ループ量

としたとき、

1)  $a \leq b$

2)  $(b-a) \times c / b = l$

3)  $MAX\ l \leq l'$

を満足すればよい。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】そこで、記録方式がタンデム型で間接転写方式のフルカラー画像形成装置において縦搬送パスを採用したものについて考察すると、転写部から定着部までの距離 $h$ を確保し、しかも画像形成装置全体の高さを低くすることは非常に困難になる。しかし、テーブルの上に載せて使用可能なフルカラーの画像形成装置では、占有面積となる装置本体の幅や奥行もある程度小さくしたいが、それ以上に装置の高さが高いと、用紙の受け取り、ジャム処理、トナー収納容器の交換等の操作性に大きな影響を及ぼすため、高さを低く抑えたいという要求がある。しかしながら、転写部から定着部までの距離 $h$ を確保しつつ装置本体の高さを低く抑えるということは上記したように相反関係にあるため、上記した縦搬送の画像形成装置では上記距離 $h$ の確保をしつつ、装置本体の高さを低く抑えることはきわめて困難であった。

【0014】本発明は、上記した事情に鑑み、画像形成時間の短縮化でき、しかも2次転写から定着までの必要な距離を確保しつつも装置本体の高さを抑えた小型化を図ることができるカラー画像形成装置を提供することを目的としている。

【0015】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明は、感光体を具備する複数の作像手段を備えた作像部、該作像部の感光体に光書き込みを行う光書き込み部、前記作像部で形成された画像が転写される中間転写ベルト、用紙に担持された未定着トナー像を定着する定着部、画像形成を終えた用紙を機外に排出する排出部、前記作像部の各作像手段に供給するトナーを収納したトナー収納部、及び複数の電装ユニットを備える電装部が設けられている画像形成部と、該画像形成部へ送り込む用紙を給紙する給紙部とを有するカラー画像形成装置において、前記作像部の作像手段が前記中間転写ベルトの下側側走行辺に沿って並列配置され、該中間転写ベルトの下側側の走行辺が、走行方向下流側へ向う程、前記作像手段の高さレベルが下方となる方向に傾斜されていることを特徴としている。

【0016】なお、本発明は、前記中間転写ベルトには、前記作像部で形成され、当該ベルトに転写された画像を用紙へ転写する2次転写部が設けられ、画像形成部は下から上に向かって前記給紙部から用紙が給紙される給紙口、前記2次転写部、前記定着部及び前記排紙部が配置されているとともに、前記給紙部から給紙口から前記2次転写部、前記定着部を介した前記排紙部までの用紙搬送パスがほぼ縦方向に延びたパスであると、効果的である。

【0017】さらに、本発明は、前記中間転写ベルトの上方に前記トナー収納部が、前記作像部の下方に前記光

7

音き込み部がそれぞれ配置されているとともに、前記トナー収納部が前記中間転写ベルトの下側走行辺と平行に傾斜されていると効果的である。

【0018】さらにまた、本発明は、前記作像部の各作像手段がそれぞれ異なる色の画像を形成するとともに、前記トナー収納部には作像手段で作像する色のトナーを収納する複数のトナー収納手段を備えており、前記作像手段と前記トナー収納手段との色の配置順が一致されていると、効果的である。

【0019】さらにまた、本発明は、各色の前記トナー収納手段から前記作像手段までのトナー供給経路の長さがほぼ等しいと、効果的である。さらにまた、本発明は、前記トナー収納手段の少なくとも1つと、他の色のトナー収納手段とのトナー収容量が異なると、効果的である。

【0020】さらにまた、本発明は、前記トナー収納手段が上部カバーを開放したときに現出する位置に配置されているとともに、装置本体の正面から見て手前側から奥側に向かって並列配置されており、その際奥側に位置する前記トナー収納手段程、高さレベルが上方となるように配置されていると、効果的である。

【0021】さらにまた、本発明は、前記画像形成部には、前記音き込み部の下方に断面形状がほぼ三角形の空間が形成され、該空間に電装部の一部が配置されていると、効果的である。

【0022】さらにまた、本発明は、前記断面形状がほぼ三角形の空間に配置された電装部がコントロールユニットであると、効果的である。さらにまた、本発明は、前記ほぼ三角形の空間にコントロールユニットが配置され、前記ほぼ三角形の空間の外で前記転写部と反対側方向の中間転写ベルトの奥側に電源ユニットが配置されていると、効果的である。

【0023】さらにまた、本発明は、前記画像形成部の最奥側の給紙部の用紙を分離する点と同じ高さの点を原点と設定し、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT1、そのトナー収納部の最下位の点をT2、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3、そのトナー収納部の最下位の点をT4とし、定着部の定着ニップ中心点をTTとしたとき、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T1(y)が前記占有空間の最上位点であるとともに、定着ニップ中心点の幅TT(x)とにおいて

$T1(y) \leq TT(x)$

の関係を満足すると、効果的である。

【0024】さらにまた、本発明は、前記画像形成部の最奥側の給紙部の用紙を分離する点と同じ高さの点を原点と設定し、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT

(5)

特開2003-202728

8

1、そのトナー収納部の最下位の点をT2、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3、そのトナー収納部の最下位の点をT4とし、定着部の定着ニップ中心点をTTとしたとき、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3(y)と定着ニップ中心点の高さTT(y)とにおいて

$TT(y) \leq T3(y)$

の関係を満足すると、効果的である。

【0025】さらにまた、本発明は、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T3(y)及びそのトナー収納部の最下位の点T4(y)と定着ニップ中心点の高さTT(y)とにおいて

$T4(y) \leq TT(y) \leq T3(y)$

の関係を満足すると、効果的である。

【0026】さらにまた、本発明は、前記画像形成部の最奥側で最下部を原点と設定し、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT1、そのトナー収納部の最下位の点をT2、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点をT3、そのトナー収納部の最下位の点をT4とし、排出部の排出点をHSとしたとき、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T1(y)と排出点をHS(y)とにおいて

$HS(y) \leq T1(y)$

の関係を満足すると、効果的である。

【0027】さらにまた、本発明は、前記複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点T1(y)及びそのトナー収納部の最下位の点T2(y)と排出点の高さHS(y)とにおいて

$T2(y) \leq HS(y) \leq T1(y)$

の関係を満足すると、効果的である。

【0028】さらにまた、本発明は、前記中間転写ベルトの下部側の走行辺と水平線とをなす角度を $\theta$ とすると、該角度 $\theta$ が5度から25度の範囲であると、効果的である。

【0029】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を添付図面に従って説明する。図1は、本発明に係るカラー画像形成装置の一側であるカラーレーザプリンタを示す概略図である。このカラーレーザプリンタは、装置本体1の下部に給紙部2が配置され、その上方に画像形成部3を配置した構成となっている。画像形成部3には、複数のローラ4、5、6に巻き掛けられた可撓性を有する無端ベルト7により構成された像担持体としての中間転写ベルト7が設けられている。この中間転写ベルト7のローラ4とローラ5間は、該ベルトの下部側ベルト走行辺に

相当しており、該下側走行辺に対向して作像部が設けられ、該作像部に作像手段としての4個の作像ユニット8 Y、8 C、8 M、8 B Kが配設されている。

【0030】4個の作像ユニット8は、中間転写ベルト7に接する潜像担持体としての感光体ドラム10を具備している。この感光体ドラム10の周りには、帯電装置11、現像装置12、クリーニング装置13が配置され、さらに感光体ドラム10が中間転写ベルト7に接する位置における中間転写ベルト7の内側には1次転写である転写装置14が設けられている。本実施形態の場合、4個の作像ユニット8 Y、8 C、8 M、8 B Kは同一構造に構成されているが、現像装置12の現像剤の色がイエロー、シアン、マゼンタ、ブラックの4色に分けられている。また、作像ユニット8の下方には光変調されたレーザ光しを各感光体ドラム表面に照射する光書き込み手段としての光書き込みユニット15が配置され、このレーザ光しは帯電装置11と現像装置12の間で感光体ドラム10に照射する。光書き込みユニット15は、各作像ユニット8が個別に設けてもよいが、本例のような共通の光書き込みユニット15を用いればコストの面で有利である。

【0031】画像形成動作が開始されると、上記作像ユニット8の感光体ドラム10が図示していない駆動装置によって時計方向に回転駆動され、その感光体ドラム10の表面が帯電装置11によって所定の極性に一様に帯電される。帯電された感光体表面には、光書き込みユニット15からのレーザ光しを照射され、これによって感光体ドラム10表面に静電潜像が形成される。このとき、各感光体ドラム10に露光する画像情報は所望のフルカラー画像をイエロー、シアン、マゼンタ及びブラックの色情報に分解した単色の画像情報である。このように形成された静電潜像は、現像装置12を通るとき、各現像装置12の現像剤によってトナー像として可視像化される。

【0032】また、中間転写ベルト7上記複数のローラ4、5、6のうち1つのローラが図示していない駆動装置によって反時計方向に回転駆動され、これにより中間転写ベルト7が矢印で示す方向に走行駆動され、他のローラが従動回転する。このように走行する中間転写ベルト7には、イエロー現像装置12を具備するイエロー作像ユニット8 Yで形成されたイエロートナー像が転写装置14によって転写される。その転写されたイエロートナー像には、作像ユニット8 C、8 M及び8 B Kで形成されたシアントナー像、さらにマゼンタトナー像及びブラックトナー像が転写装置14によって順次重ね転写され、かくして中間転写ベルト7はその表面にフルカラーのトナー像を担持する。なお、中間転写ベルト7にはローラ6に対向して2次転写装置20が配設され、ローラ4に対向してベルト表面を清掃するベルトクリーニング装置21が配設されている。

(5)

特開2003-202728

【0033】また、トナー像が転写された後の感光体ドラム表面に付着する残留トナーは、クリーニング装置13によって感光体ドラム表面から除去され、次いでその表面が図示していない除電装置によって除電作用を受け、その表面電位が初期化されて次の画像形成に備えられる。

【0034】一方、給紙部2から紙または樹脂シート等からなる用紙が給送され、給紙口2aから画像形成部3に送り込まれる。画像形成部3に送り込まれた用紙は、レジストローラ21を介してローラ6と対向する2次転写装置20との間に給送される。そして、このとき2次転写装置20には中間転写ベルト表面のトナー像のトナー帯電極性と逆極性の転写電圧が印加され、これによって中間転写ベルト表面のトナー像が用紙上に一括して転写される。トナー像を転写された用紙は、定着装置22を通るとき、その熱及び圧によってトナー像が用紙に熔融して定着される。定着された用紙は、矢印で示すように、画像形成装置本体1の上部により構成された排紙部23に排出される。また、トナー像を用紙に転写後の中間転写ベルト12は、該ベルトに残留したトナーがクリーニング装置21より除去される。

【0035】以上の説明は、用紙上にフルカラー画像を形成するときの画像形成動作であるが、作像ユニット8のいずれか1つを使用して単色画像を形成したり、2色又は3色の画像を形成したりすることもできる。

【0036】このように構成されたカラープリンタは、4個の作像ユニット8 Y、8 M、8 C及び8 B Kを中間転写ベルト7に対向して設け、中間転写ベルト7に順次各色のトナー像を重ね転写するため、作像手段が1つ4色の現像装置を持ち、中間転写体上にトナー像を重ね転写し、その後用紙に転写する形式のものと比べて作像時間を大幅に短縮することができる。さらに、タンデム方式の画像形成装置であっても図5に示すような中間転写ベルトの上部走行辺に作像手段を配置したものと比べてファースプリントが速いという利点が得られる。

【0037】本実施形態におけるカラープリンタは、中間転写ベルト7におけるローラ4とローラ5間の下側走行辺を傾斜させ、その傾斜した下側走行辺に対向させて各作像ユニット8を並列配置させている。この中間転写ベルト7の下側走行辺の傾斜方向は、中間転写ベルト7の走行方向に対し、下流側に配置した作像ユニット8ほど高さレベルが下方となる方向であり、図1では右下がりとなっている。

【0038】図1に本実施形態のカラープリンタは、図6に示すプリンタとほぼ同一の構成部品を使用しているものの、装置本体の高さが低く形成されている。したがって、縦搬送バスである給紙部2から定着装置20までの距離も短くなっているが、上記したように中間転写ベルト7を傾斜して配置することで、バスが短くなっても2次転写装置20から定着装置20までの必要とする距



11

離 $h$ を十分に確保し、全体の高さを低く抑えている。

【0039】また、中間転写ベルト7の走行辺が図6のように水平であると、ベルト全体を同高さレベルに位置させることになるが、図1に示す本実施形態のプリンタでは中間転写ベルトの左側が上方に位置するため、そのプリンタ本体には左下に顕著な断面ほぼ三角形の空間が形成される。この空間は、図9に斜線で示すように、光音き込みユニット15の幅を $A$ とすると、一辺の高さが $A \cdot \sin \theta$ 、一辺の幅が $A \cdot \cos \theta$ の直角三角形の形状となる。そして、その空間に電装ユニットを配置すればプリンタは高さだけでなく幅方向においても小型化が可能となる。なお、図1の例では中間転写ベルト7の下部に4個の作像ユニット8、その下方に光音き込みユニット15、そして光音き込みユニット15の下には各作像プロセスに必要な高圧電源を供給する高圧電源ユニット30と、ホストコンピュータからの画像信号を内部の制御信号に変換するコントロールユニット31及び装置全体の制御を行うエンジンコントロール32を配置している。

【0040】このようにプリンタに必要とされる電装ユニットを光音き込みユニット15の下に配置したことにより、プリンタの小型化が実現でき、本プリンタでは電源ユニット33だけを装置後方に直立して配置している。

【0041】また、図1に示す本プリンタの画像形成部3のレイアウトは、数式によって規定することができる。この場合、画像形成部3の最奥側の給紙部の用紙を分離する点と同じ高さの点を原点としたときのレイアウト関係式における各ポイントの定義は、図10、図1

2、図13、図15及び図16に示すように、

【0042】1) 排出点:  $HS(x, y)$

2) 定着ニップ中心点:  $TT(x, y)$

3) 転写点:  $TS(x, y)$

4) レジスト点:  $RE(x, y)$

5) 給送分離点:  $BR(x, y)$

6) 複数のトナー収納部の高さを規定する点:

複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点:  $T1(x, y)$

そのトナー収納部の最下位の点:  $T2(x, y)$ 、複数の

トナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在する

トナー収納部の最上位の点:  $T3(x, y)$ 、そのトナ

ー収納部の最下位の点:  $T4(x, y)$

定着ニップ中心点とトナー収納部の最短距離を形成するトナー収納部の点:  $T5(x, y)$ である。

【0043】また、レイアウト関係式における各角度の定義は図10及び図11に示すように、

1) 中間転写ベルト下部走行辺と水平面が形成する角度:  $\theta$

2) 中間転写ローラ5の転写点と作像部の端部が延長し中間転写ベルトと接する点をむすぶ線と水平面が形成す

(7)

特開2003-202728

12

る角度:  $\phi$

3) 転写点と給送分離点をむすぶ線と水平面が形成する角度:  $\gamma$

4) 定着点と転写点をむすぶ線と水平面が形成する角度:  $\beta$

【0044】さらに、レイアウト関係式における各距離の定義は図10に示すように、

1) 中間転写ベルト下部走行辺から作像手段を挟んだ光音き込み手段の下辺部までの幅:  $d1$

2) 給送分離点から光音き込み手段までの $y$ 方向の距離:  $d2$

3) 給送分離点から転写点までの $y$ 方向の距離:  $D$

4) トナー固着防止距離:  $H1$

5) トナー固着防止距離( $x$ 方向):  $H1x$

6) トナー固着防止距離( $y$ 方向):  $H1y$

7) 転写点と定着点の距離:  $h$

8) 奥側円筒状トナー収納部の中心点と手前側円筒状トナー収納部の中心点の距離:  $N$

9) 円筒状トナー収納部の半径:  $R1$

10) 円筒状トナー収納部の半径(他と異なる半径の場合):  $R2$

である。

【0045】本プリンタにおいて、最上位にトナー収納部があり、その最上位点の高さ方向( $y$ 方向)の大きさを $T1(y)$ とすると、

【式1】  $T1(y) = R1 + (N + R1) \sin \theta + H1y + h \cdot \sin \beta + D$

で表すことができる。

【0046】この場合、 $R1 + (N + R1) \sin \theta + H1y$ は定着点からトナー収納部の最上位部までの高さ、 $h \cdot \sin \beta$ は転写点から定着点までの高さ、そして $D$ は給送分離点から転写点までの $y$ 方向の距離である。

【0047】さらに、 $D$ は

$D = d2 + d1 \cdot \cos \theta + d3 \cdot \sin \phi$

で表すことができる。

【0048】また、本プリンタの最大幅の点の $x$ 方向の大きさ $TT(x)$ は、

【式2】

$$TT(x) = BR(x) + \frac{D}{\tan \gamma} + h \cdot \cos \beta$$

で表すことができる。

【0049】以上の関係式から、画像形成部3のレイアウトは、画像形成部3の最奥側で最下部を原点として複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点の高さ $T1(y)$ と定着ニップ中心点の幅 $TT(x)$ において $T1(y) \leq TT(x)$ の関係を満足することである。

【0050】さらに、複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点の高さ $T3(y)$ と定着ニップ中心点の高さ $TT(y)$ に

(8)

特開2003-202728

13

において  $T T(y) \leq T 3(y)$  の関係を満足し、より好ましくは複数のトナー収納部を側面から見て最も低い位置に存在するトナー収納部の最上位の点の高さ  $T 3(y)$  及びそのトナー収納部の最下位の点の高さ  $T 4(y)$  と定着ニップ中心点の高さ  $T T(y)$  とにおいて  $T 4(y) \leq T T(y) \leq T 3(y)$  の関係を満足することである。

【0051】さらにまた、複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点の高さ  $T 1(y)$  と排出点を  $H S(y)$  とにおいて  $H S(y) \leq T 1(y)$  の関係を満足することであり、より好ましくは複数のトナー収納部を側面から見て最も高い位置に存在するトナー収納部の最上位の点の高さ  $T 1(y)$  及びそのトナー収納部の最下位の点の高さ  $T 2(y)$  と排出点の高さ  $H S(y)$  とにおいて  $T 2(y) \leq H S(y) \leq T 1(y)$  の関係を満足することである。

【0052】また、中間転写ベルト7の下部側走行辺と水平線とでなす角度を  $\theta$  は

$$\sin \theta = (T 1(y) - H 1 y - h \cdot \sin \beta - D - R 1) / (N + R 1) \quad 20$$

で表すことができる。該角度  $\theta$  が5度から25度の範囲であることがより好ましい。

【0053】ここで、図1に本プリンタと図6のプリンタとを比較する。なお、図2は図1のプリンタの平面説明図で、図7は図6のプリンタの平面説明図である。また、両者は各構成部材がほぼ同一のものを使用している。

【0054】図1及び図2と図6及び図7から明らかなように、上記したレイアウト関係式によって規定された本プリンタは図1の右端側が正面としたとき、両者は奥行きこそ570mmと同サイズであったものの、幅において420mmと475mmと55mm小型化され、高さにおいて468mmと475mmと7mm小型化となり、本プリンタの方が小サイズにすることができた。この差は、ミリ単位のものであるが、現時点での小型化の技術がほぼ網羅されており、そのような画像形成装置において数ミリでも小型化になることは極めて有益である。

【0055】さて、本発明の如き電子写真方式を採用したプリンタにおいてトナーは消耗品であり、トナーはその消費した量に応じてトナー収納手段としてのトナーカートリッジ36から供給される。本実施形態においても、すべて同一サイズからなるトナーカートリッジ36と各作像ユニット8の現像装置12とが図示していないトナー供給装置によって連結されている。このトナー供給装置は、オーガによってトナーを搬送するものであるが、そのオーガの駆動はメインモータ（図示せず）から受けている。かかる構成において、本実施形態では図1に示すように、各色のトナーカートリッジ36からその

14

トナーを供給する現像装置12までのトナー搬送経路の長さ、角度をすべて同一にさせている。すなわち、各トナーカートリッジ36は中間転写ベルト7の上方で、そのベルトの下側走行辺の傾斜と同角度に傾斜させるとともに、各作像ユニット8の配置間隔と同間隔を持って並列配置させている。

【0056】このように構成することにより、各トナーカートリッジ36から各作像ユニット8の現像装置12までの搬送条件がほぼ同一となり、同一駆動源でトナー搬送を行う場合の設定・制御を容易に行うことができる。また、トナーカートリッジ36はトナーエンドとなれば新品と交換しなければならない。本実施形態のプリンタでは、排紙部23として使用している上部カバー37を図12の矢印で示すように手前から奥側方向へ開放することでトナーカートリッジ36の交換が可能となる。このとき、トナーカートリッジ36は奥側のものほど上位位置に位置するので取り扱いやすく、すべてのトナーカートリッジ36を水平に配置した場合と比べて交換作業性、視認性が大幅に向上する。

【0057】また、本実施形態のプリンタは給紙から排紙までの搬送パスをほぼ最小の長さに済み、しかも搬送パスは図1のようにレジストローラ24から定着装置22までをほぼストレートにすることが容易であり、ストレートな搬送パスは、ジャムがしにくく有利である。さらに、プリンタ1の正面板を開閉可能とすることで、ジャム処理のための搬送パスの開放も容易になる。

【0058】さらにまた、本発明はトナー収納部において、図14に示すように少なくとも一つのトナーカートリッジ36を他のトナーカートリッジ36より収納量を多くすることができ、例えば、最も消費量が多い黒トナーの収納量を他のカラートナーより多くすれば交換頻度を抑えられ有利である。なお、トナーカートリッジ36は図16に示すように円筒状でなく、角筒状であっても良い。

【0059】

【発明の効果】請求項1の構成によれば、作像手段が配置される下部側のベルト走行辺が傾斜されているので、複数の作像手段を用いる形式の画像形成装置であっても、その縦横の両方のサイズをコンパクト化することができる。

【0060】請求項2の構成によれば、給紙から排紙までの搬送パスが縦方向であるので、搬送パスの長さを必要最小限の長さになって画像形成時間を最短でき、しかもジャム等の危険度も小さくすることができる。

【0061】請求項3及び4の構成によれば、トナー収納部と作像部との配置に規則性を与えることができる。請求項5の構成によれば、各トナー収納手段から各作像手段までのトナー供給に関する搬送条件をほぼ同一にすることができ、トナー供給の制御等を容易に行うことができる。

(9)

特開2003-202728

15

【0062】請求項6の構成によれば、使用頻度の多いトナーを収納したトナー収納手段を大容量にしてトナー収納手段の交換回数を抑えることができる。請求項7の構成によれば、トナー収納手段の交換時に奥側ほど上位に位置するので、交換作業性や視認性が向上する。

【0063】請求項8の構成によれば、光音き込み手段の下方に電装ユニットを配置することできるので、装置の小型化を促進することができる。請求項9及び10の構成によれば、コントロールユニットをデッドスペースに納められ、さらに電源ユニットは定着熱の影響を受け

【0064】請求項11の構成によれば、装置が高過ぎることによる操作性の悪化を防ぎ、装置の奥行きを小さくすることによって、装置の設置面積を小さくでき、高過ぎることなく、また同時に、設置面積を広くすることなく、操作性の向上と装置の小型化の二つをバランス良く両立することが可能となる。

【0065】請求項11及び12の構成によれば、各トナーの収納手段が視認性が良く、なお且つ交換性の容易な状態で傾斜し、そしてまた、使用者にとって一番手前

【0066】請求項14及び15の構成によれば、各トナーの収納手段の視認性が良く、なお且つ交換性の容易な状態で傾斜し、そしてまた、使用者にとって一番奥にあるトナー収納手段の取り扱いが最も良好な高さになり、操作性の向上が可能となる。

【0067】請求項16の構成によれば、タンデム方式の画像形成装置において最も高速、かつ小型で操作性の良い装置を實現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のカラー画像形成装置の全体構成を示す概略説明図である。

【図2】図1のカラー画像形成装置の平面説明図である。

【図3】直接転写のタンデム型カラー画像形成装置を示す説明図である。

【図4】間接転写のタンデム型カラー画像形成装置を示す

\*す説明図である。

【図5】間接転写のタンデム型カラー画像形成装置の他の従来例を示す説明図である。

【図6】図5の装置の問題を軽減できるタンデム型カラー画像形成装置の従来例を示す説明図である。

【図7】図6のカラー画像形成装置の平面説明図である。

【図8】2次転写と定着間の用紙搬送に存在する問題点を説明する図である。

【図9】本発明のカラー画像形成装置に形成される電装部を配置可能なスペースを示す説明図である。

【図10】本発明のカラー画像形成装置のレイアウト関係式に定義される各ポイントを示す説明図である。

【図11】本発明のカラー画像形成装置のレイアウト関係式に定義される各角度を示す説明図である。

【図12】本発明のカラー画像形成装置のレイアウト関係式に定義される各ポイントを補足する説明図である。

【図13】本発明のカラー画像形成装置のレイアウト関係式に定義される各ポイントを補足する説明図である。

【図14】1つだけ容量の大きいトナー収納部とした一例を示す説明図である。

【図15】図14におけるカラー画像形成装置のレイアウト関係式に定義される各ポイントを示す説明図である。

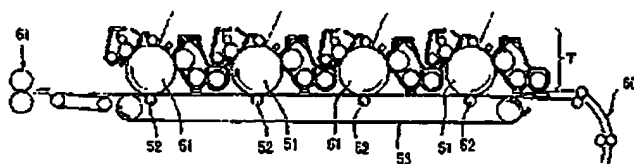
【図16】各トナー収納部を四角形にした一例を示す説明図である。

【図17】本発明のカラー画像形成装置の外観斜視図である。

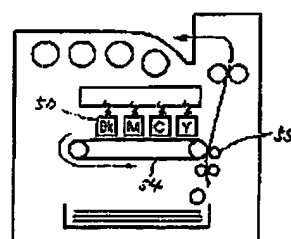
【符号の説明】

- 1 装置本体
- 7 中間転写ベルト
- 8Y、8M、8C、8BK 作像ユニット
- 10 感光体ドラム
- 12 現像装置
- 20 2次転写装置
- 22 定着装置
- 30～33 電装ユニット
- 36 トナーカートリッジ

【図3】



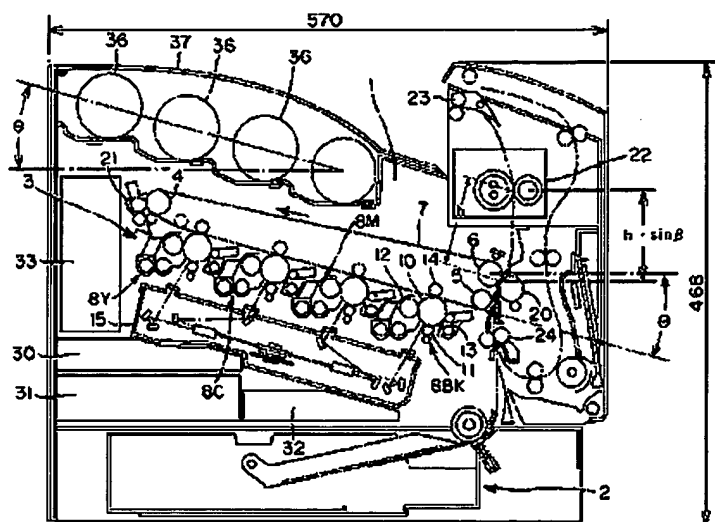
【図5】



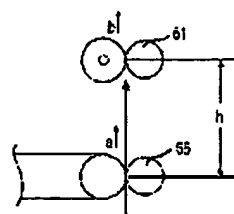
(10)

特開2003-202728

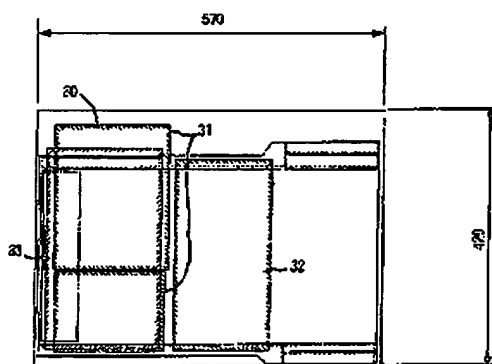
【図1】



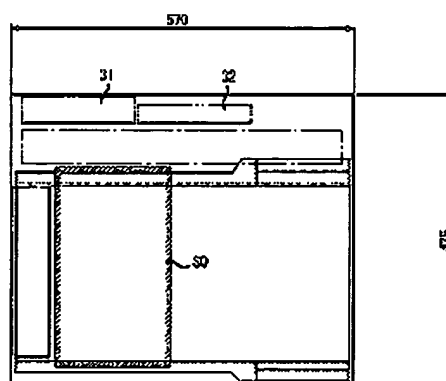
【図8】



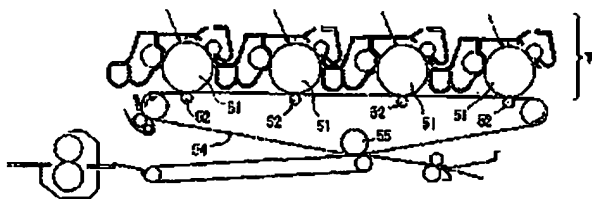
【図2】



【図7】



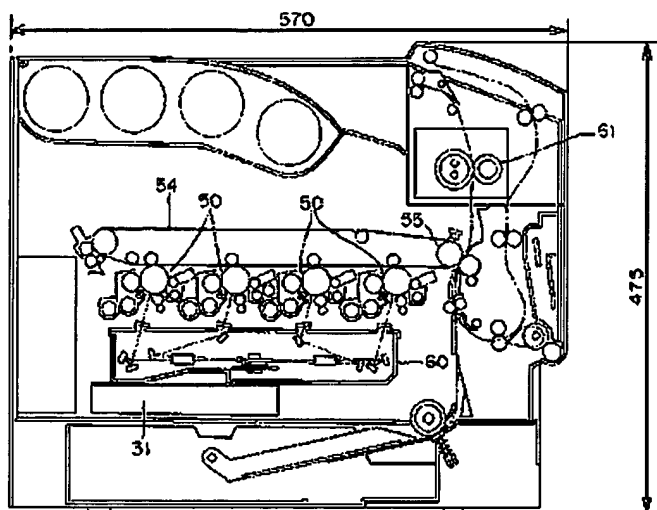
【図4】



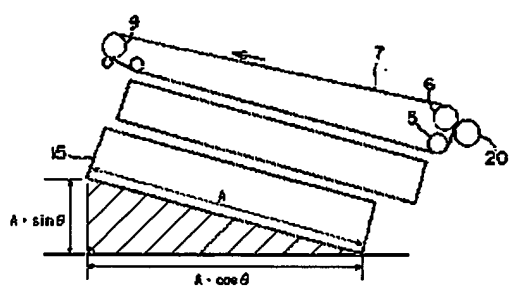
(11)

特開2003-202728

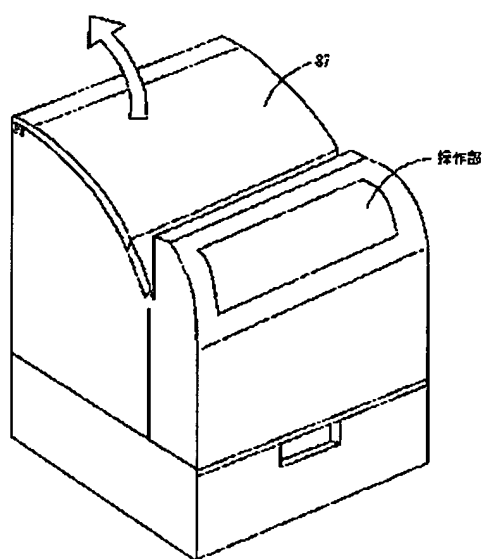
【図6】



【図9】



【図17】

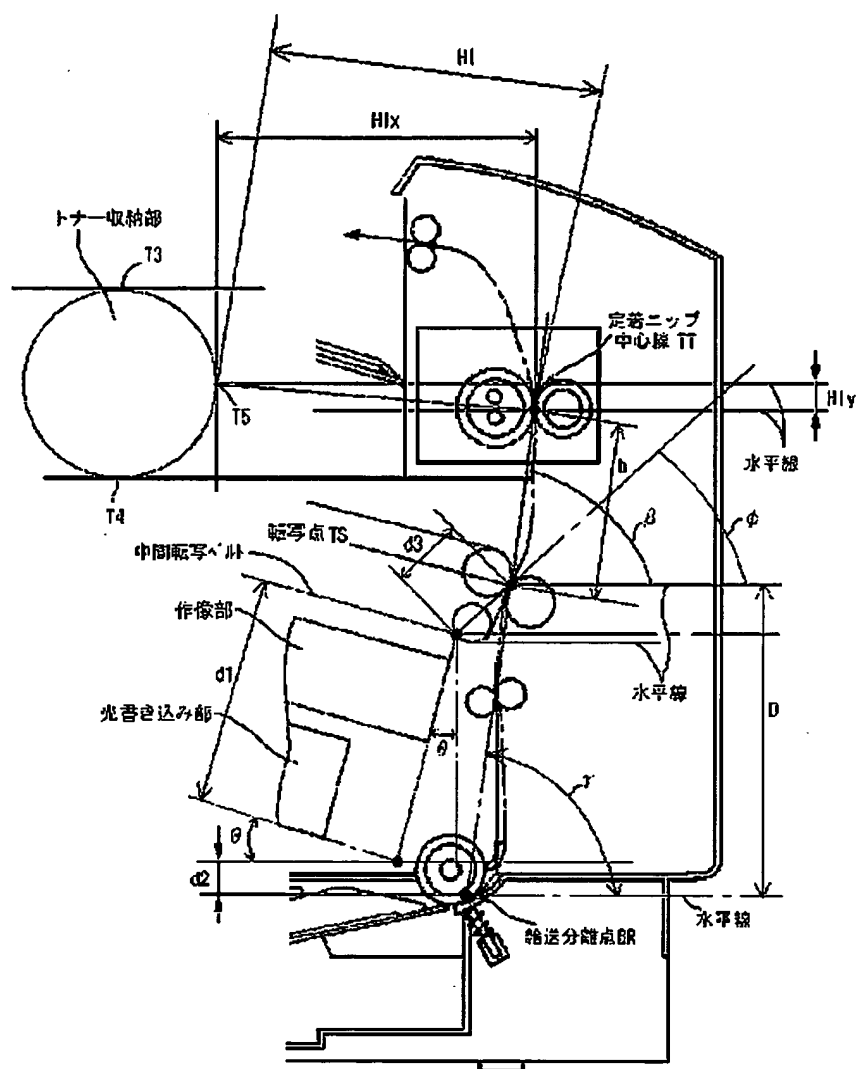




(13)

特開2003-202728

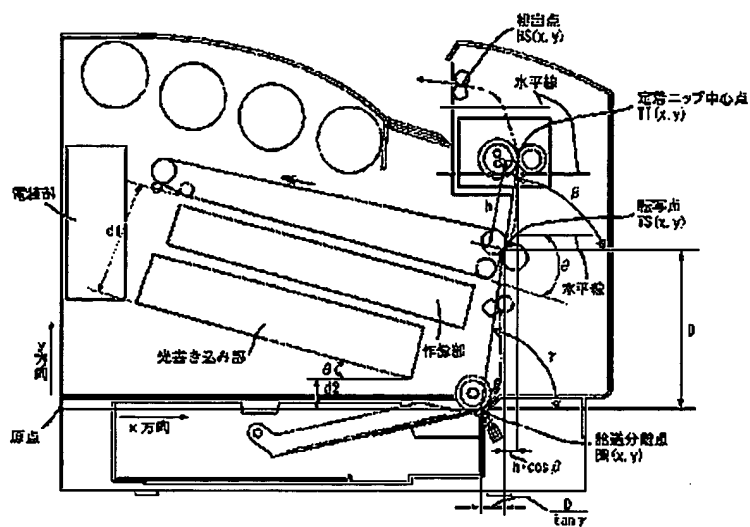
【図11】



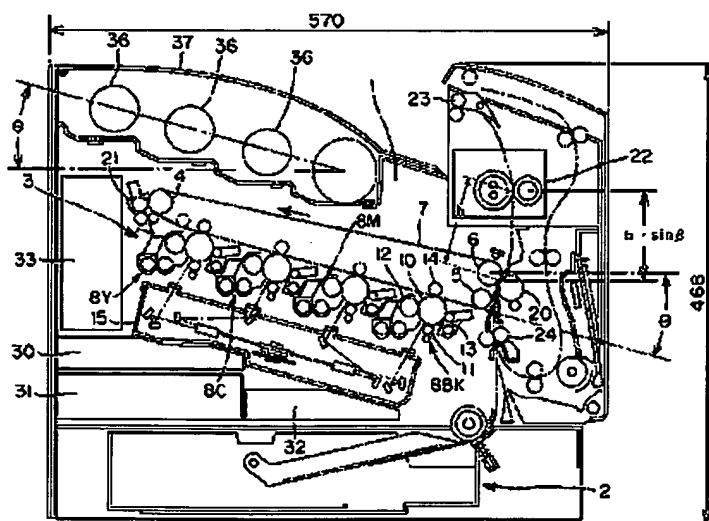
(14)

特開2003-202728

【圖 13】



【图 14】

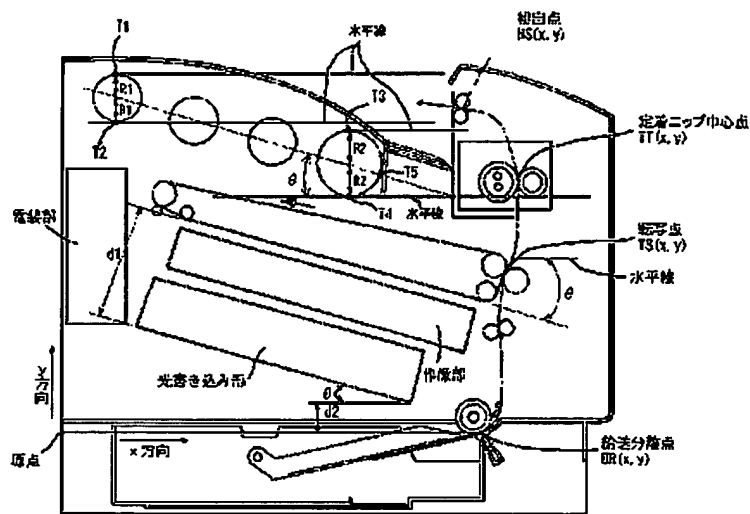




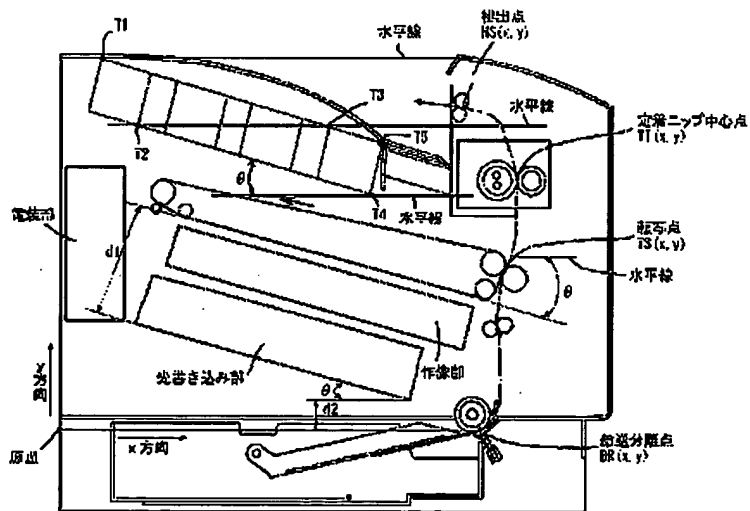
(15)

特開2003-202728

【図15】



【図16】



フロントページの続き

(72)発明者 石井 洋  
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

(72)発明者 福地 豊  
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

(72)発明者 久間 敏修  
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

(72)発明者 鈴木 一基  
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

(16)

特開2003-202728

(72)発明者	木倉 真	F ターム(参考)	2H171 FA02 FA03 FA05 FA09 FA10
	東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式		FA12 FA13 FA15 FA19 FA22
	会社リコー内		FA28 GA02 GA03 GA11 HA23
(72)発明者	佐藤 眞澄		JA05 JA07 JA15 JA23 JA27
	東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式		JA29 JA31 JA32 KA09 QA04
	会社リコー内		QA08 QA24 QB03 QB15 QB32
(72)発明者	司城 裕保		QB35 QC03 QC22 QC24 QC29
	東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式		QC36 SA02 SA08 SA14 SA15
	会社リコー内		SA18 SA22 SA26 SA31 SA37
(72)発明者	中原 知利		WA02 WA03 WA06 WA07 WA08
	東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式		WA11 WA13 WA16 WA17 WA18
	会社リコー内		WA21 WA26 WA27
(72)発明者	安井 元一	2H300	EA01 EA05 EA06 EA17 EB04
	東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式		EB07 EB12 EC01 EC02 EC05
	会社リコー内		EC13 ED04 ED08 ED11 EF03
			EF08 EG02 EG12 EH16 EJ09
			EJ22 EJ47 EJ59 EK01 EK03
			EL04 FF02 FF03 FF04 FF05
			GG01 GG02 GG03 GG31 GG33
			GG35 HH12 HH14 HH29 HH40

JP 2003-202728 A5 2004.9.24

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成16年9月24日(2004.9.24)

【公開番号】特開2003-202728(P2003-202728A)

【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)

【出願番号】特願2002-266629(P2002-266629)

【国際特許分類第7版】

G 0 3 G 15/01

G 0 3 G 21/16

【F I】

G 0 3 G 15/01 Z

G 0 3 G 15/01 1 1 4 A

G 0 3 G 15/00 5 5 4

【手続補正書】

【提出日】平成15年9月9日(2003.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

図8において、2次転写部55の線速をb、定着部61での線速aとすると、両者の線速は $a = b$ が理想である。しかし、現実問題として $a = b$ に設定しても公差から $a = b$ になることは不可能であり、もし転写よりも定着が速い $a > b$ になってしまうと、転写部と定着部とに跨って用紙が搬送されるとき、転写中の用紙が定着によって引っ張られて転写ズレを発生させる。そこで、転写部と定着部の関係は予め $a < b$ として上記した転写ズレを防止するように設定している。しかし、定着部よりも転写部の線速が速い $a < b$ に設定すると、転写部と定着部とに跨って搬送される用紙に大きく側方へずれるたるみが生じ、このたるみによって未定着トナー像が筐体の一部に触れて画像を乱すという問題が発生する。したがって、転写部から定着部までの距離hは大きく側方へずれるたるみを緩和させるためにも、使用する用紙のサイズに応じたある程度の長さが必要となっていた。このとき、転写点から定着点までの高さ $h \cdot \sin \beta$ は、転写擦れが生じないようにするため、

a：定着ローラの線速

b：転写ローラの線速

c：用紙の副走査方向の長さ

l：ループ量

l'：転写コスレを発生しない最大許容ループ量

としたとき、

1)  $a \leq b$ 2)  $(b - a) \times c / b = l$ 3)  $MAX\ l \leq l'$ 

を満足すればよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図8

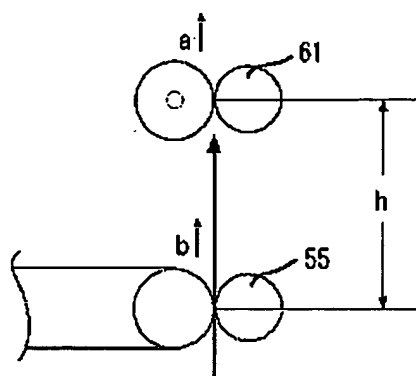
【補正方法】変更

【補正の内容】

(2)

JP 2003-202728 A5 2004.9.24

【図 8】



\* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

DETAILED DESCRIPTION

---

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] This invention relates to color picture formation equipments, such as a color printer, a color copying machine, and color facsimile.

[0002]

[Description of the Prior Art] In recent years, many full color devices have appeared on the market so that full color equipments, such as a color printer and a color copying machine, may be demanded and the image formation equipment of an electrophotography method may reply to the request. Compared with the equipment of monochrome, equipment was enlarged on that structure, and the image formation rate of this full color image formation equipment was also that by which becoming a low speed is not avoided further. However, extent which can be used like the printer of monochrome also in full color image formation equipment, being able to carry on a table was miniaturized, and a thing of the high speed of an image formation rate is desired.

[0003] In full color image formation equipment, if the color recording method adopted is divided roughly, it will be divided into the all directions type of 1 drum type and a tandem die. 1 drum type is the thing of the method which equips the surroundings of one photo conductor with the developer of two or more colors, a toner is made to adhere with those developers, forms a synthetic toner image on a photo conductor, imprints the toner image, and records a color picture on a form. On the other hand, a tandem die is the thing of the method which forms a monochromatic toner image in two or more photo conductors which it puts in order and has, respectively, carries out the sequential imprint of those monochrome toner images, and records a synthetic color picture on a form.

[0004] When the image formation equipment of 1 drum type and a tandem die is compared, although it has the advantage that it is low cost, since 1 drum type can miniaturize the image formation section compared with a tandem die, it repeats multiple-times (usually 4 times) image formation using one photo conductor since the number of photo conductors is one and forms a full color image, difficulty is in improvement in the speed of image formation. On the other hand, although the latter tandem die is inferior to the above-mentioned 1 drum type in respect of a miniaturization and cost, it has an advantage with easy improvement in the speed of image formation.

[0005] Therefore, with full color image formation equipment, the tandem die by which about the same speed as monochrome is obtained from the point of an image formation rate is demanded, and it is observed very much in recent years. As shown in the image formation equipment of a tandem die at drawing 3, the image on each photo conductor 51 with imprint equipment 52 As it is indicated in the form conveyed by the form conveyance belt 53 as the thing of the direct imprint method which carries out a sequential imprint at drawing 4 The sequential imprint of the image on each photo conductor 51 is once carried out with primary imprint equipment 52 at the middle imprint belt 54, and there is a thing of the indirect imprint method which carries out the package imprint of the image on the middle imprint belt 54 with secondary imprint equipment 55 at a form the back.

[0006] When the thing of a direct imprint method is compared with the thing of an indirect imprint

method, the former must arrange feed equipment 60 to the upstream of tandem-die image formation equipment T which put the photo conductor 51 in order, must arrange an anchorage device 61 to the downstream, and has the fault enlarged in the form conveyance direction. On the other hand, since the latter can set up the secondary imprint location 55 comparatively freely, it is possible to shorten the conveyance pass of a form and there is an advantage whose miniaturization is attained.

[0007] if full color image formation equipment takes into consideration improvement in the speed of an image formation rate from the above-mentioned explanation -- a recording method -- a tandem die -- it is -- and a miniaturization -- taking into consideration -- an indirect imprint method -- good -- it can be said that it is better good.

[0008] Next, when vertical conveyance is adopted so that the conveyance pass from feed opening to fixing may become the shortest about a form, if a recording method considers the full color image formation equipment of an indirect imprint method by the tandem die, part improvement in the speed can be carried out, and there is an advantage with the short mileage between services of a form from which a jam etc. moreover cannot happen easily. And as the equipment which adopted vertical conveyance pass shows to drawing 5, it is necessary that the secondary imprint location 55 becomes the right end of the middle imprint belt 54. if the imaging unit 50 as four imaging means is arranged the up transit side of the common middle imprint belt 54 at this time, since the last BK image will be imprinted -- an abbreviation semicircle time -- since -- in order to pass secondary imprint equipment 55, it is not avoided that the time amount of that part first copy becomes long.

[0009] Then, when a recording method adopts vertical conveyance pass in the full color image formation equipment of an indirect imprint method by the tandem die, as shown in drawing 6, it is advantageous to arrange four imaging units 50 the bottom transit side of the middle imprint belt 54. That is, with the equipment arranged in this way, the conveyance pass of a form is also the shortest mostly, and since it piles up immediately after moreover imprinting the last image and an image arrives at a secondary imprint location, the time amount of a first copy is shortened.

[0010] As described above, in order to be made to a miniaturization to the extent that it can be used with full color image formation equipment, being able to lay on a table and to realize high-speed image formation moreover, it can be said that that as which the recording method adopted vertical conveyance pass in the full color image formation equipment of an indirect imprint method by the tandem die from the current technique is the most desirable.

[0011] By the way, in the image formation equipment of an electrophotography method, a certain amount of die length which becomes settled from the paper size to be used is required for the distance from an imprint location to a fixing location, and it explains the reason briefly using drawing 8  $R > 8$ .

[0012] In drawing 8, when linear velocity of the secondary imprint sections 55 is made into the linear velocity  $b$  in  $a$  and the fixing section 61,  $a=b$  of both linear velocity is an ideal. However, if it is impossible to become  $a=b$  from tolerance and fixing becomes quick  $a < b$  from an imprint, even if it sets it as  $a=b$  as an actual problem, when a form is conveyed ranging over the imprint section and the fixing section, the form under imprint is pulled by fixing and imprint gap is generated. Then, the relation between the imprint section and the fixing section is set up so that the imprint gap beforehand described above as  $a > b$  may be prevented. However, if it is set as  $a > b$  with the linear velocity of the imprint section quicker than the fixing section, the sag which shifts to the form conveyed ranging over the imprint section and the fixing section greatly to the side will arise, and the problem of a non-established toner image touching some cases as being in this sag, and disturbing an image will occur. Therefore, also in order for the distance  $h$  from the imprint section to the fixing section to make the sag which shifts to the side greatly ease, a certain amount of die length according to the size of the form to be used was needed. in order to make it imprint \*\*\*\* not produce height  $h \cdot \sin \beta$  from an imprinting point to an established point at this time -- amount of vertical-scanning lay length  $l$ : loop formations  $l'$  of a linear velocity  $c$ : form of the linear velocity  $b$ : imprint roller of  $a$ : fixing roller -- what is necessary is just to satisfy  $1 \ a < b^2(b-a) \ x/c/b = l^3 \ \text{MAX} \ l \leq l'$ , when it considers as the amount of maximum-permissible loop formations which does not generate :imprint rubbing

[0013]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] Then, if that as which the recording method adopted vertical conveyance pass in the full color image formation equipment of an indirect imprint method by the tandem die is considered, the distance  $L$  from the imprint section to the fixing section will be secured, and it will become very difficult to make the height of the whole image formation equipment low moreover. However, although the width of face and depth of the body of equipment which carry on a table and serve as occupancy area with usable full color image formation equipment are also to some extent small and he wants to carry out, if the height of equipment is high more than it, in order to have big effect on operability, such as reception of a form, jam processing, and exchange of a toner stowage container, there is a demand of wanting to stop height low.

\* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

DESCRIPTION OF DRAWINGS

---

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] It is the approximate account Fig. showing the whole color picture formation equipment configuration of this invention.

[Drawing 2] It is the flat-surface explanatory view of the color picture formation equipment of drawing 1.

[Drawing 3] It is the explanatory view showing the tandem-die color picture formation equipment of a direct imprint.

[Drawing 4] It is the explanatory view showing the tandem-die color picture formation equipment of an indirect imprint.

[Drawing 5] It is the explanatory view showing other conventional examples of the tandem-die color picture formation equipment of an indirect imprint.

[Drawing 6] It is the explanatory view showing the conventional example of the tandem-die color picture formation equipment which can mitigate the problem of the equipment of drawing 5.

[Drawing 7] It is the flat-surface explanatory view of the color picture formation equipment of drawing 6.

[Drawing 8] It is drawing explaining the trouble which exists in form conveyance between a secondary imprint and fixing.

[Drawing 9] It is the explanatory view showing the tooth space which can arrange the electric equipment formed in the color picture formation equipment of this invention.

[Drawing 10] It is the explanatory view showing each point defined as the layout relational expression of the color picture formation equipment of this invention.

[Drawing 11] It is the explanatory view showing each include angle defined as the layout relational expression of the color picture formation equipment of this invention.

[Drawing 12] It is an explanatory view supplementary to each point defined as the layout relational expression of the color picture formation equipment of this invention.

[Drawing 13] It is an explanatory view supplementary to each point defined as the layout relational expression of the color picture formation equipment of this invention.

[Drawing 14] It is the explanatory view showing an example used as the toner compartment with a large capacity only one.

[Drawing 15] It is the explanatory view showing each point defined as the layout relational expression of the color picture formation equipment in drawing 14.

[Drawing 16] It is the explanatory view showing an example which used each toner compartment as the square.

[Drawing 17] It is the appearance perspective view of the color picture formation equipment of this invention.

[Description of Notations]

1 Body of Equipment

7 Middle Imprint Belt



8Y, 8M, 8C, 8BK Imaging unit  
10 Photo Conductor Drum  
12 Developer  
20 Secondary Imprint Equipment  
22 Anchorage Device  
30-33 Electrical unit  
36 Toner Cartridge

---

[Translation done.]